

# JBPO 将来ビジョン2030

2020年1月22日



**一般社団法人日本BPO協会**

Japan Business Process Outsourcing & Staffing Association

# 目次

- 将来ビジョン2030策定の背景
- 製造系人材サービス業界の課題解決の方向性
- 今後の当業界の果たすべき役割について
- 活動基本方針
- 将来ビジョン2030
- 今後の方向性
- 今後の取り組み課題
- 名称変更の着手
- (参考) 政策提言とCSR宣言の振り返り
- (参考) 将来ビジョン2020の振り返り
- (参考) 組織体制



# ■ 将来ビジョン2030 策定の背景

我が国の2030年までを見通すと、グローバル化の進展とデジタルテクノロジーの進化による産業構造の変化と少子高齢化により、質・量ともに**人手不足が深刻化**します。



取引先企業の対応としては…

- ・A I や I C T などの省人化・情報化
  - ・事業の選択と集中
  - ・企業間の連携強化 など
- 人材の質と生産性の向上が求められる。



労働市場の変化としては…

- ・多様な働き方
  - ・不合理な格差の是正
  - ・女性・高齢者・外国人材の活躍支援 など
- 様々な対応が必要とされる。

上記の動きは我々の取引先企業のあり方に大きな影響を与え、取引先企業と一体的に活動する人材サービスもその影響を受けます。

これまで2009年からの政策提言、2012年の将来ビジョン発表と時機をとらえ発信してきましたが、2019年の協会創立30年と外部環境の大きな変化の節目に対して、**会員企業の道しるべと当協会のあり方を社会に示すために、将来ビジョン2030をここに策定**しました。

# ■ 製造系人材サービス業界の課題解決の方向性

「策定の背景」記載の外部環境の変化に対して、当業界の課題解決の方向性は、以下のように認識しています。



## 高スキル・高付加価値化

- ・高度な技能・技術分野の拡大
- ・付加価値の高い請負・派遣サービスの提供



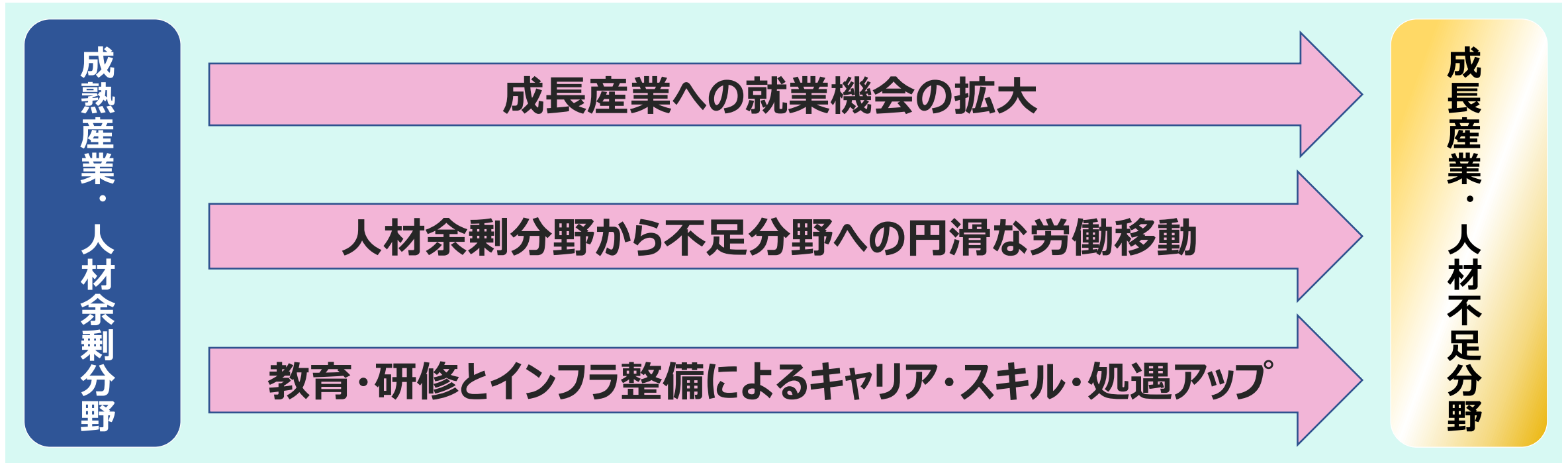
## 人材確保力の強化

- ・女性・高齢者・外国人材の活用
- ・魅力ある就業機会の開発・提供

これらの課題への解決については、短期的に対応できるものだけでなく、中長期的な対応を要するものもあるため、長期ビジョンである将来ビジョン2030を策定し計画的に対応していきます。

# ■ 今後の当業界の果たすべき役割について

『必要とされる場へ必要とされる人材をつなぐ架け橋となる』



「策定の背景」記載の外部環境の変化等に対して、当業界が果たすべき役割を上記のようにとらえ、これを遂行していくことを明確に示すため、次のとおり将来ビジョンを掲げます。

## ■ 活動基本方針

---

人間尊重の基本理念に基づき、働く者の権利を守り、働き甲斐のある職場環境を作り、我が国の産業並びに健全な社会の発展に寄与する為の事業活動を行う。



# ■ 将来ビジョン2030

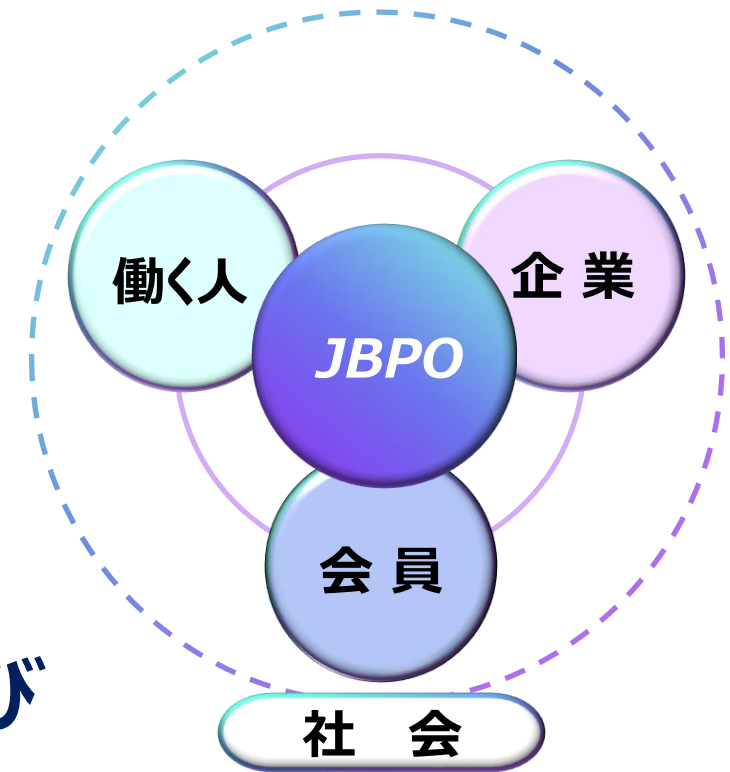
## ◆ ビジョン ◆ 「トリプルウィンで社会を支える」

『**会員企業が**

**働く人**の働き甲斐と誇りある仕事の創造および

**取引先企業**の生産性と競争力向上に貢献し、

共に成長することで、**Win-Win-Win** 実現を支援する。』



# ■ 今後の方向性

- ◆ サービスの多様化と高度化
- ◆ 協会の活動領域の拡大

「働く人の多様な就業機会の創出」・「取引先企業へのサービスの向上」と共に「業界の健全化推進」のため、協会の活動領域を拡大し発信力を高めます。

【今後】：製造請負・派遣を軸とし、さらに**広範なアウトソーシング全般を対象**とする。

	製造	物流	技術	販売	コールセンター	バックオフィス
J S L A	●	●	●	●	●	●



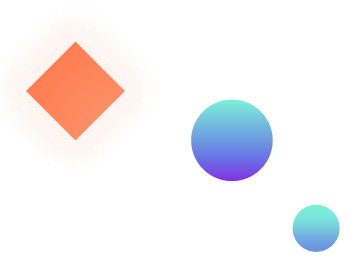
# ■ 今後の取り組み課題

## ◆ 将来ビジョン2030を実現するための今後の取り組み課題

JSLA

ステークホルダー		大項目	中項目
会員	会員企業	会員サービス 拡充	会員組織の拡大・支部組織の整備 会員への支援体制の強化 広報活動の強化
働く人	働く人	就業支援・ 能力開発	就業機会の提供・雇用の安定 キャリア形成支援・スキルアップ 処遇向上
企業	取引先企業	生産性向上	マッチング能力の向上 高付加価値人材・サービスの提供 生産変動への対応
社会	社会	労働者支援	コンプライアンスと正しい理解の普及 業界としてのセーフティネットの構築 多様な働き方と雇用の創出

# ■ 名称変更の着手



◆ 今後の活動領域の拡大を見据えて、協会名称の変更に着手する。

<名 称>

現 状：一般社団法人日本生産技能労務協会（J S L A）



新名称（案）：

「一般社団法人●●●●協会（略称●●）」

（注）2021年7月に「日本BPO協会」に名称変更

# ■ (参考) 政策提言とCSR宣言の振り返り

健全で社会から信頼される製造請負・派遣事業を目指す業界団体として、労働者派遣制度のあり方に関して提言を実施。また、自らを律する上での「基本精神」および「活動指針」をCSR宣言として明示。

## 政策提言

- 2009年から継続的に政策提言を実施。
- ・労働者派遣事業の許可要件の厳格化  
(⇒資本金・資産要件・社会保険加入・特定派遣の届出制から許可制へ)
  - ・労働者派遣制度の見直し  
(⇒専門26業務の撤廃・派遣期間制限の業務から人の単位の見直し)
  - ・製造請負事業の新たな法整備などの必要性  
(⇒請負ガイドライン・請負疑義応答集・優良事業者認定制度 etc. )

## CSR活動

- 2009年にミッション、行動憲章、行動指針から構成される
- ・CSR宣言を発表  
(2009年10月19日付 日本経済新聞に掲載)

# ■ (参考) 将来ビジョン2020の振り返り

JSLAは、2009年日本製造アウトソーシング協会と統合し、労働者派遣法改正問題への対応と、あるべき姿を明確にし、業界の健全化および社会的地位向上を図るため、2012年に策定。

■ **当業界のあるべき姿：製造業の発展を支援することで我が国の発展に貢献する。**

## 健全で成長可能な運営

- 業界事業者の健全性支援
- 業界事業者の成長性支援
- 業界健全化の推進
- 会員サービス向上

## 就業者の技能習熟と知識向上

- 労働者の基本的能力の向上支援
- 事業者横断型のキャリア形成支援
- キャリア形成に関連する育成支援

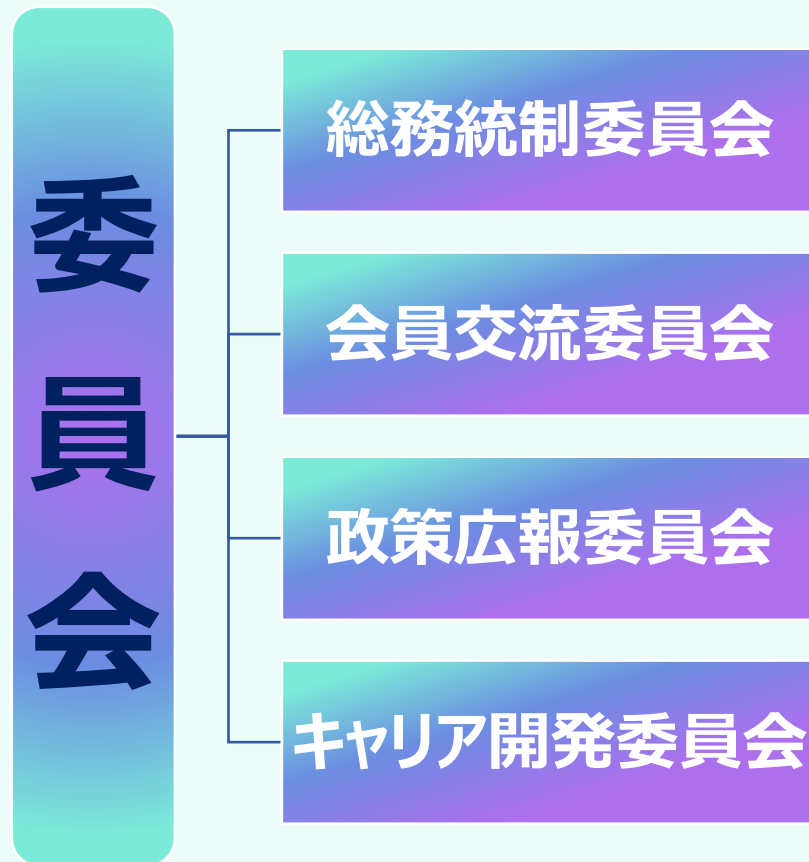
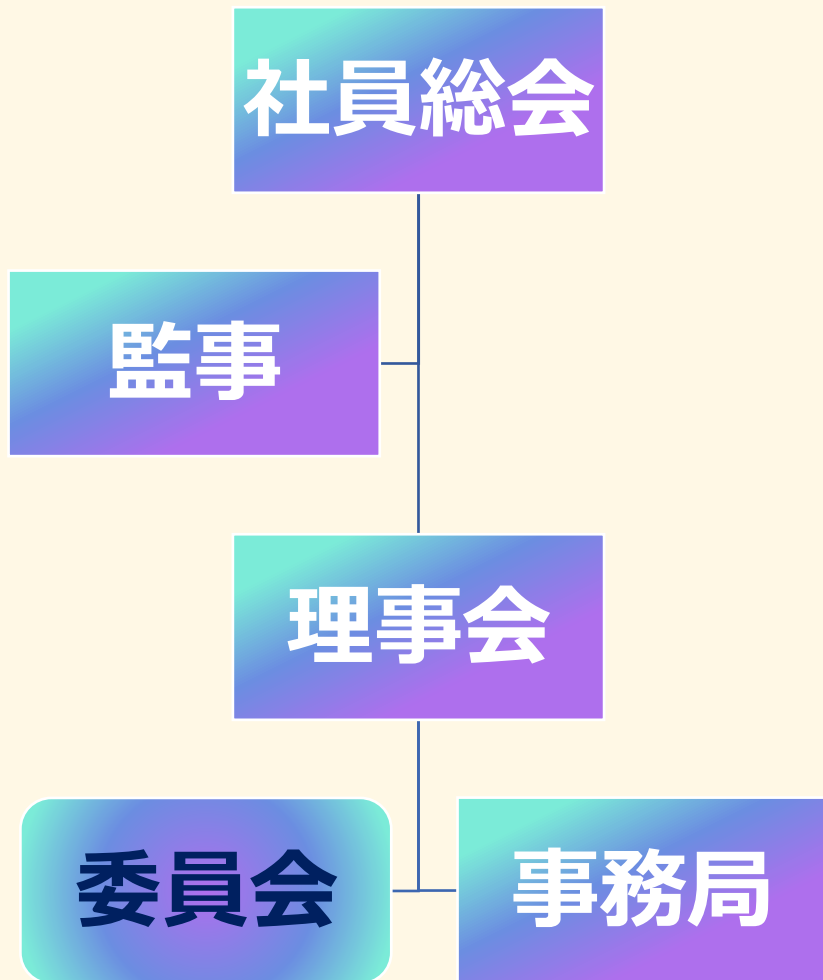
## 雇用の創出・安定と福祉の増進

- 雇用の創出
- 雇用の安定と福祉の増進

## 業界の地位向上

- 関係諸機関との連携
- 知名度向上とイメージアップ

# ■ (参考) 組織体制



**協会理事および事務局員全員は、  
当業界および会員企業の発展のため、  
誠実かつ確実に行動します。**

**何卒、皆さまのご理解とご協力の程、  
よろしくお願い申し上げます。**